

2022年度 表彰式

【情報通信月間参加行事】

2022年度 情報通信技術賞・功労賞表彰式が
6月14日にメルパルク東京において挙行されました。

本年度は、総務大臣表彰2名、TTC 会長表彰4名、功労賞 15 名が受賞されました。

表彰式は、原島 博 会長の式辞に続き、中西 祐介 総務副大臣のご祝辞を賜り、村井 純 表彰選考委員会委員長の選考結果報告を受けた後、表彰状の授与が行われました。

なお、本年度の表彰式は、適切な感染防止対策を実施した上で、受賞者を中心に少人数で開催いたしました。また、ライブ配信を行いました。



式辞：原島 博 会長



祝辞：中西 祐介 総務副大臣



表彰選考委員会結果報告：村井 純 委員長

表彰を受けられた方々

1 情報通信技術賞 総務大臣表彰

(1) 「通信品質技術の国際標準化及び IP 電話サービスの普及への貢献」

高橋 玲 殿 国立研究開発法人理化学研究所 (元 日本電信電話株式会社)

1994 年から一貫して通信品質の評価・設計・管理技術に関する標準化活動に従事し、2005 年から ITU-T の Performance, QoS and QoE Study Group (SG12) のラポータ、WG 副議長、SG 副議長を歴任し、日本の技術の国際標準化を達成すると同時に、SG12 の組織マネジメントにも貢献することで日本の発言力の維持向上を達成した。また、2001 年から TTC で開始された IP 電話の品質基準とその評価方法の検討においては中心的役割を担い、050IP 電話、0AB-J IP 電話の普及に大きく貢献した。総務省の IP-NW 設備委員会技術作業班にも参画し、0AB-J IP 電話の品質基準として ITU-T 勧告 G.107 (E-model) を用いて規定することの妥当性の評価など、制度の技術的な裏付け等を行い、安定した通話品質の確保に貢献した。さらに、2020 年のワイヤレス固定電話の技術的条件の策定においては、キーパーソンとして、現実的な品質基準値を設定することを可能にし、ユーザ保護と事業者負担の軽減のバランスを保った健全な電気通信サービス市場の発展に寄与した。



役割を担い、050IP 電話、0AB-J IP 電話の普及に大きく貢献した。総務省の IP-NW 設備委員会技術作業班にも参画し、0AB-J IP 電話の品質基準として ITU-T 勧告 G.107 (E-model) を用いて規定することの妥当性の評価など、制度の技術的な裏付け等を行い、安定した通話品質の確保に貢献した。さらに、2020 年のワイヤレス固定電話の技術的条件の策定においては、キーパーソンとして、現実的な品質基準値を設定することを可能にし、ユーザ保護と事業者負担の軽減のバランスを保った健全な電気通信サービス市場の発展に寄与した。

(2) 「サイバーセキュリティに関する国際標準化への貢献」

中尾 康二 殿 国立研究開発法人情報通信研究機構 (元 KDDI 株式会社)

日本における ISMS 認証制度の構築に深く貢献し、ISMS に関連する複数の国際規格化を ITU-T 及び ISO/IEC JTC1/SC27 において実施した。特に ITU-T X.1051 | ISO/IEC 27011 については、総務省及び日本の電気通信事業者と連携して日本が主導する国際規格化を実現し、世界中の電気通信事業者への普及に大きく貢献した。また、近年注目されている IoT、自動車などの分野における国際規格については、ITU-T 等において、IoT セキュリティガイドライン (ISO/IEC 27400)、つながる車の脅威集 (X.1371)、車のソフト/ファームのセキュアアップデート (X.1373)、VMS アーキテクチャ (H.551) 等の数多くのセキュリティにかかわる勧告やガイドラインの策定に携わるなど、ICT を活用した社会・産業基盤の構築、発展に多大な貢献を行った。これまで長期にわたり、幅広い分野でのサイバーセキュリティの標準化に関し、TTC のセキュリティ専門委員会での議論を主体的にリードするとともに、ITU や ISO/IEC での国際標準の策定を強力に推進し、日本のサイバーセキュリティ技術により世界を主導した。



アップデート (X.1373)、VMS アーキテクチャ (H.551) 等の数多くのセキュリティにかかわる勧告やガイドラインの策定に携わるなど、ICT を活用した社会・産業基盤の構築、発展に多大な貢献を行った。これまで長期にわたり、幅広い分野でのサイバーセキュリティの標準化に関し、TTC のセキュリティ専門委員会での議論を主体的にリードするとともに、ITU や ISO/IEC での国際標準の策定を強力に推進し、日本のサイバーセキュリティ技術により世界を主導した。

2 情報通信技術賞 TTC会長表彰

(1) 「IMS 事業者間接続インタフェース仕様に関する国際・国内標準仕様の整合性確保にかかわる功績」

エヌ・ティ・ティ・アドバンステクノロジー株式会社 井上 芳洋 殿

(2) 「音声・オーディオ符号化及びマルチメディアに関する標準化にかかわる功績」

日本電気株式会社 芹沢 昌宏 殿

(3) 「映像符号化の研究開発・標準化及び実用化にかかわる功績」

KDDI 株式会社 滝嶋 康弘 殿

(4) 「I3C及びFIDOにおけるパスワード課題を解決する認証に関する国際標準化及びその普及推進にかかわる功績」

株式会社 NTT ドコモ 森山 光一 殿



TTC 会長表彰 井上 芳洋 様



TTC 会長表彰 芹沢 昌宏 様



TTC 会長表彰 滝嶋 康弘 様



TTC 会長表彰 森山 光一 様

3 功 勞 賞

- | | | |
|--|-----------------------|----------|
| (1) 「アクセス網システムに関する標準化活動にかかわる功績」 | 日本電信電話株式会社 | 浅香 航太 殿 |
| (2) 「電気通信番号に関する標準化の推進にかかわる功績」 | KDDI 株式会社 | 井上 統之 殿 |
| (3) 「AI 活用における品質・信頼性・説明責任に関する事例調査にかかわる功績」 | 日本電気株式会社 | 岩崎 順子 殿 |
| (4) 「通信装置のソフトウェア対策に関する標準化活動にかかわる功績」 | 富士通株式会社 | 岡川 宏 殿 |
| (5) 「コネクテッド・カーに関する標準化活動にかかわる功績」 | 慶應義塾大学 | 川嶋 弘尚 殿 |
| (6) 「HD-PLC に関する標準化活動にかかわる功績」 | パナソニック ホールディングス株式会社 | 川畑 直弘 殿 |
| (7) 「自動車の遠隔更新技術関連報告書策定にかかわる功績」 | 元 富士通株式会社 | 小谷 誠剛 殿 |
| (8) 「伝送網の装置機能及び保護・復旧に関する標準化の推進にかかわる功績」 | 三菱電機株式会社 | 小西 良明 殿 |
| (9) 「通信装置のソフトウェア対策に関する標準化活動にかかわる功績」 | 元 日本電信電話株式会社 | 三瓶 健 殿 |
| (10) 「OTN インタフェースに関する標準化活動にかかわる功績」 | 日本電信電話株式会社 | 新宅 健吾 殿 |
| (11) 「PSTN マイグレーションに関する IMS 事業者網間の標準シーケンス / メッセージ例策定にかかわる功績」 | 東日本電信電話株式会社 | 高瀬 琢磨 殿 |
| (12) 「標準化格差是正 (BSG) に関する標準化活動にかかわる功績」 | トヨタ自動車株式会社 | 土居 義晴 殿 |
| (13) 「光ファイバケーブルに関する標準化活動にかかわる功績」 | 通信電線線材協会 | 平船 俊一郎 殿 |
| (14) 「コネクテッド・カーに関する標準化活動にかかわる功績」 | 慶應義塾大学 | 福井 良太郎 殿 |
| (15) 「IoT・スマートシティに関する標準化活動にかかわる功績」 | 株式会社エヌ・ティ・ティ・データ経営研究所 | 三上 雄一郎 殿 |



功勞賞受賞 代表者 浅香 航太 様



2022年度 表彰式

一般社団法人情報通信技術委員会

総務大臣表彰・TTC 会長表彰・功労賞受賞の皆様

